

施策 228 文化と生涯学習の振興

【主担当部局：環境生活部】

県民の皆さんとめざす姿

世代や障がいの有無、国籍などにとらわれず、あらゆる県民の皆さんが文化や地域の歴史等に学び親しみ、豊かな感性や創造性等を育みながら、心豊かな生活を送っています。

また、文化活動や学びの成果を生かし、ライフステージ等に応じて地域のさまざまな活動を主体的に支えています。

平成 31 年度末での到達目標

多様な文化にふれ親しんだり、学びの機会を得ることで、心の豊かさやいきがいを実感している県民が増加するとともに、三重の文化の素晴らしさや学習する楽しさが再認識され、その魅力や知識が磨き上げられて、文化を通じた交流や学習成果を生かす機会が活発になっています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
参加した文化活動、生涯学習に対する満足度	95.5%	97.0%		97.0%		97.0%
目標項目の説明	県立文化・生涯学習施設が実施した展覧会、講座、公演事業および歴史・文化資源を活用した事業におけるアンケート調査で、その内容について「満足」、「やや満足」と回答した人の割合					
29 年度目標値の考え方	魅力ある文化にふれる機会や多様な学びの機会を提供することによって、第一次行動計画期間中の実績値を上回り、平成 27 年度現状値から 1.5 ポイント増の 97%以上を維持することをめざし、目標値として設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22801 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実（環境生活部）	県立文化施設の利用者数		137 万人		138 万人		140 万人
		137.7 万人					
22802 文化財の保存・継承・活用（教育委員会）	文化財情報アクセス件数		210,000 件		216,000 件		228,000 件
		202,960 件					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
22803 学びとそ の成果を生か す場の充実（環 境生活部）	みえ生涯学習 ネットワーク 登録会員数（累 計）		140 会員		150 会員		170 会員
		128 会員					
22804 社会教育 の推進と地域 の教育力の向 上（教育委員 会）	地域の教育関 係者のネット ワークへの参 画者数（累計）		200 人		300 人		500 人
		—					

現状と課題

- ①「新しいみえの文化振興方針」に基づき、「人材の育成」や「文化の拠点機能の強化」など5つの方向で取組を展開し、県民の皆さんが主体的に文化にふれ親しみ、支え、創造することができるような環境を整備していく必要があります。また、これらの取組を進めるにあたっては、サミットの成果や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを視野に入れる必要があります。
- ②特色ある歴史的風土に生まれ、地域の中で守り伝えられてきた多くの有形・無形の文化財を適切に保存し、地域に対する愛情や誇りを育めるよう、人づくりや地域づくりに活用していく必要があります。
- ③ライフステージやライフスタイルに応じた多様な学習ニーズを的確に把握して魅力的な学びの場を提供することや、学んだ成果を生かして主体的に活動することができる場の提供など、生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりが必要です。
- ④社会教育においては、地域における多様な主体が持つ知識や経験を、学校教育や家庭教育と連携して地域の課題解決や学習環境の整備に生かすこととともに、関係者の資質向上を図ることが求められています。

平成29年度の実行方針

環境生活部

- ①「新しいみえの文化振興方針」に掲げる5つの方向について、有識者の意見をふまえながら取組を進めます。特に、次代を担う若い世代や文化振興を担う専門人材の育成に取り組むとともに、各県立文化施設の一層の魅力向上や連携によって、利用者の拡大と満足度の向上を図っていきます。また、サミット開催で得た知名度を生かすとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムに関する国の動向をふまえ、本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信していきます。
- ②県総合文化センター（文化会館、生涯学習センター）は、音楽や演劇、伝統芸能など、多彩で魅力的な文化芸術公演や、県内高等教育機関や博物館等と連携したセミナー、子どもたちが本物の文化を体験できるアウトリーチ事業等を実施し、県民の皆さんに多様な文化と学びの場を提供していきます。

- ③総合博物館は、活動理念である「ともに考え、活動し、成長する博物館」のもと、多様な主体や利用者との連携・協創を進め、サミットで活用された伝統工芸品にちなんだ展覧会をはじめ、三重の多様な豊かな自然や歴史文化等をテーマにした魅力的な展覧会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める展覧会、教育事業、アウトリーチ活動を行っていきます。
- ④県立美術館は、開館35周年を記念して、巨匠たちの名作を紹介する展覧会や子どもから大人まで楽しめる展覧会、本県出身の偉人にちなんだ展覧会のほか、美術館を核に地域と連携し、移動美術館や参加体験型の教育普及活動を実施するなど幅広い関心層に応えることができる展示、普及活動に取り組めます。
- ⑤齋宮歴史博物館は、ジュニアサミットでの視察にちなんだ展覧会やさいくう平安の杜等を活用した地域との連携事業、歴史体験プログラム等の教育普及事業を実施するなど、齋宮の魅力を発信していきます。
- ⑥県立図書館は、県内図書館職員を対象にした研修を実施するほか、広域ネットワークの活用により県内図書館の利用拡大を図るとともに、全県域へのサービス、先進的なサービスを提供します。

教育委員会

- ⑦歴史的・文化的に価値の高い文化財を調査し、保存・継承のための措置を講じるとともに、文化財に関する情報発信や活用の取組を通じて、県民の皆さんが文化財の価値に気づき、守り伝え、活用できるよう、環境づくりを進めます。
- ⑧市町における社会教育担当職員や公民館職員等の資質向上と連携強化を目的として、研修や情報交換を行います。また、地域で活躍する学校支援地域本部や放課後子ども教室の関係者、社会教育委員等の交流の場を設け、地域の教育力の向上や学校との連携等につなげます。
- ⑨県立青少年教育施設である鈴鹿青少年センターおよび熊野少年自然の家の利用者の拡大を図り、自然の中での体験活動や集団宿泊研修等を通じて、心身ともに健全な青少年を育成します。

主な事業

環境生活部

- ①文化活動連携事業【基本事業名：22801 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 予算額：(28) 24,569千円 → (29) 19,941千円
 事業概要：「人材の育成」や「文化の拠点機能の強化」など「新しいみえの文化振興方針」で定める5つの方向にかかる各種取組について、専門的な視点から評価を行います。また、三重の文化芸術のレベルアップのために、文化振興を担う人材の育成等に取り組めます。
- ②文化交流機能強化事業【基本事業名：22801 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 予算額：(28) 4,098千円 → (29) 1,963千円
 事業概要：子どもを中心により多くの方が文化交流ゾーンで楽しく学びきっかけとして、各県立文化施設を巡るスタンプラリーや絵画コンクール、子どもを対象としたアートフェスティバルなど、参加体験型のイベントを実施します。

③豊かな体験活動推進事業【基本事業名：22801 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(28) 13,623千円 → (29) 13,167千円

事業概要：次代を担う子どもたちの感性を育み、本県の文化の継承、発展につなげるため、芸術家を学校に派遣するなど、本物の文化を体験・体感する機会を提供します。

④（新）宣長サミット開催事業【基本事業名：22801 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(28) — 千円 → (29) 4,066千円

事業概要：伊勢志摩サミットのレガシー（資産）である知名度の向上を最大限に生かして、三重が輩出した世界に評価される偉人である本居宣長をテーマとした宣長サミット（仮称）を開催し、県民がふるさとみえの文化を再認識して磨き上げるとともに、国内外との交流を活性化させる機会を提供します。

⑤文化会館事業【基本事業名：22801 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(28) 47,491千円 → (29) 47,491千円

事業概要：質の高いオペラ、バレエ等から高い人気を誇る歌舞伎等の伝統芸能まで、多彩で魅力的な文化芸術公演やアウトリーチ活動、人材育成に取り組み、県民が文化芸術にふれ親しむ機会を提供します。

⑥生涯学習センター事業【基本事業名：22803 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(28) 10,769千円 → (29) 10,769千円

事業概要：多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、県内の高等教育機関、各種団体等との連携により、多様な学習機会の提供を行うとともに、地域において生涯学習分野で活動する方々を支援するための研修会を開催します。

⑦総合博物館展示等事業【基本事業名：22803 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(28) 121,147千円 → (29) 102,129千円

事業概要：県民獣カモシカや人気の鉄道等をテーマにした展覧会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にちなんだ展覧会等を開催します。また、伊勢型紙等のさまざまなテーマで各種団体と連携して交流展を開催するほか、移動展示、フィールドワーク等のアウトリーチ活動を展開し、三重の自然と歴史・文化の魅力を発信します。

⑧美術館展示等事業【基本事業名：22803 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(28) 73,532千円 → (29) 89,141千円

事業概要：開館35周年を記念して、巨匠の絵画等の名作を紹介する展覧会をはじめ、世界的な現代アートや三重県が輩出した偉人である本居宣長の書画作品を紹介する展覧会等を開催するとともに、地域と連携し、移動美術館や出前講座、アートの視点で地域の魅力を発見するセミナー等に取り組み、多くの県民が美術にふれ親しむ機会を提供します。

⑨齋宮歴史博物館展示・普及事業【基本事業名：22803 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(28) 10,670千円 → (29) 9,819千円

事業概要：ジュニアサミットで関心を集めた平安ファッション等を紹介する展覧会や人気の「モノケ」をテーマとした展覧会等を開催するとともに、歴史講座等を実施し、国史跡齋宮跡の魅力発信に取り組みます。

⑩齋宮を核とした平安文化活用発信事業【基本事業名：22803 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(28) 12,125千円 → (29) 20,022千円

事業概要：発掘調査の公開、発掘体験、巡回シンポジウムなど、地域と連携して、「さいくう平安の杜」をはじめとする史跡齋宮跡の魅力を学び体感する機会を提供するとともに、県内大学と連携し、発掘調査を通じた人材の育成等に取り組みます。

⑪図書館管理運営事業【基本事業名：22803 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(28) 160,032千円 → (29) 158,560千円

事業概要：全県域に図書館サービスを提供するため、市町立図書館等と構築した図書館総合情報ネットワークや図書の相互貸借にかかる物流ネットワークを適切に運用するとともに、市町立図書館等に対して先進的な取組事例を紹介するなどの支援を行います。

教育委員会

⑫文化財保存管理事業【基本事業名：22802 文化財の保存・継承・活用】

予算額：(28) 11,489千円 → (29) 6,915千円

事業概要：県内の貴重な文化財を調査し、文化財保護審議会の審議を通じて、指定等の適切な保存措置を講じるとともに、文化財についての情報発信を行います。また、国・県指定等文化財が適切に保存されるよう巡視を行います。

⑬地域文化財総合活性化事業【基本事業名：22802 文化財の保存・継承・活用】

予算額：(28) 102,000千円 → (29) 160,402千円

事業概要：国・県指定等文化財の所有者等が行う修復等の保存事業や公開・活用、防災の取組に対して、技術的な助言と必要な経費についての支援を行います。

⑭世界に誇る三重の文化財記録事業【基本事業名：22802 文化財の保存・継承・活用】

予算額：(28) 2,008千円 → (29) 1,680千円

事業概要：海女漁技術関連行事の映像記録の作成と既存資料のデジタル化など、世界に誇れる三重の無形の文化財記録を作成するとともに、情報発信を行います。

⑮埋蔵文化財センター管理運営費【基本事業名：22802 文化財の保存・継承・活用】

予算額：(28) 9,900千円 → (29) 13,200千円

事業概要：埋蔵文化財の発掘調査や適切な保存管理を行うとともに、県民への公開・普及や子どもたちが郷土への愛着を持つような文化財を活用した学習を行います。また、収蔵スペースの確保について検討します。

⑯社会教育推進体制整備事業【基本事業名：22804 社会教育の推進と地域の教育力の向上】

予算額：(28) 2,384千円 → (29) 3,674千円

事業概要：社会教育推進体制の整備・充実を図るため、社会教育委員や公民館職員等を対象とした全県会議や研修会を開催します。また、地域で子どもを対象とした教育活動に取り組む放課後子ども教室や NPO 等の関係者による情報交換会等を行い、地域の教育力の向上につなげます。

⑰鈴鹿青少年センター費【基本事業名：22804 社会教育の推進と地域の教育力の向上】

予算額：(28) 77,173千円 → (29) 107,759千円

事業概要：自然の中で心身ともに健全な青少年を育成するため、鈴鹿青少年センターを指定管理により運営し、施設利用者の拡大と社会教育の普及・振興を図るとともに、効率的な管理運営を行います。

⑱熊野少年自然の家費【基本事業名：22804 社会教育の推進と地域の教育力の向上】

予算額：(28) 43,154千円 → (29) 51,511千円

事業概要：自然の中で心身ともに健全な少年を育成するため、熊野少年自然の家を指定管理により運営し、施設利用者の拡大と社会教育の普及・振興を図るとともに、効率的な管理運営を行います。